

非常事態宣言

2008年1月から6月まで

休日出勤者が600名以上

一ヶ月平均100名以上=現場社員の約7割！！

このままでは車両の安全は守れない！！

みなさんご存知でしたか？

大阪第一車両所では、本年1月から6月までの間に600名以上の現場社員が休日出勤をしているのです。このままいくと、約7割の現場社員が年間で12回以上（泊まり勤務も含む）の休日出勤をすることになります。

過去にこんなことはありませんでした。まさに非常事態です！

「休日手当がもらえるから」などとのんきなことを言っている場合ではありません。

本来、私たちにとっての休日とは、連日の労働で消耗した肉体的、精神的な力を回復するためにあるものです。またそれは他でもない、安全な車両を提供する大前提となるものです。これは車両に直接関わる私たち現場社員が最も真剣に考えなければならない問題です。

経営陣とそれに飼いならされた労働組合の幹部は「2025年のリニア実現のために一丸となって」などと言いながら、更なる人件費の削減と安全確保のための投資を削減してきます。そして事故やミスが発生すれば「やるべきことをやっていないから」だとか「意識がたるんでいるから」などとその責任を現場社員に押しつけてくるのです。

適正な要員を確保していないのは会社です！

安全に対する意識がたるんでいるのは会社です！

私たちは、車両と社員の安全を無視した**休日出勤に反対します！**

そして、その犠牲を大前提にする**リニア構想に反対します！**